

## 外国人市民意識調査 単純集計（速報値）

## 第 2 次甲賀市多文化共生推進計画

## 【調査目的】

第 2 次甲賀市多文化共生推進計画の見直しを実施するにあたり、外国人市民の意識を調査し、計画に反映する。

## 【調査対象】

18 歳以上の外国人市民 4,169 人（令和 7 年 6 月 30 日時点）

## 【調査期間】

令和 7 年 8 月 8 日（金）～ 9 月 10 日（水）

## 【調査回答数（率）】

960 件（23%）

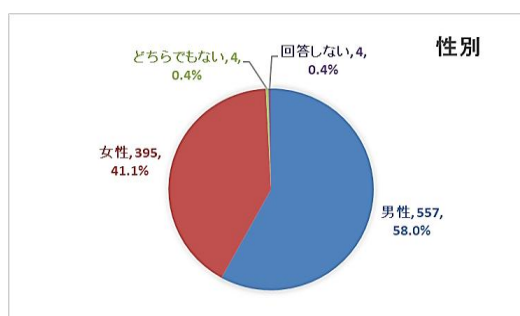
## 【集計結果（速報値）】

1. 抽選への参加
2. メールアドレス

## 【回答者の属性】

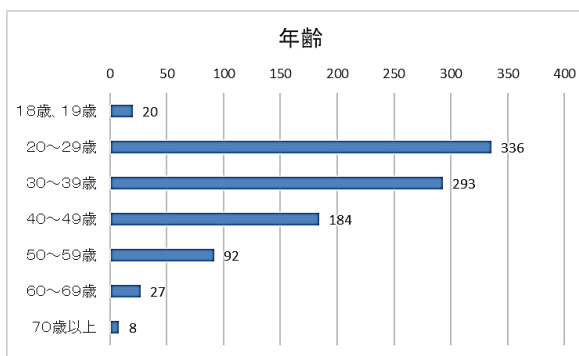
## 3. 性別

n=960		
性	人数	割合
男性	557	58.0%
女性	395	41.2%
どちらでもない	4	0.4%
回答しない	4	0.4%
計	960	100.0%



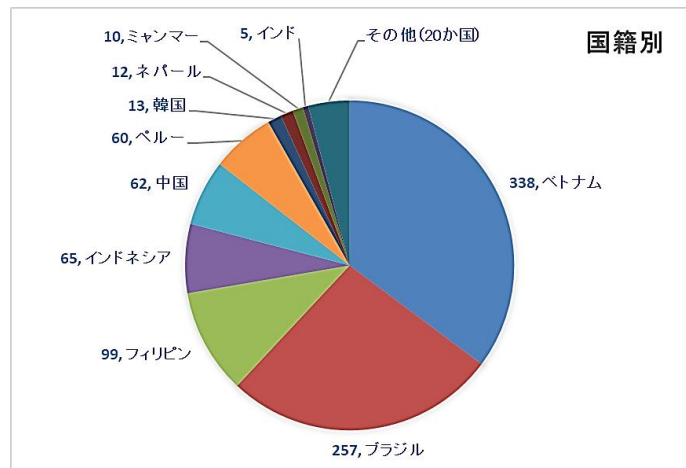
## 4. 年齢

n=960		
年齢	人数	割合
18歳、19歳	20	2.1%
20～29歳	336	35.0%
30～39歳	293	30.5%
40～49歳	184	19.2%
50～59歳	92	9.6%
60～69歳	27	2.8%
70歳以上	8	0.8%
	960	100.0%



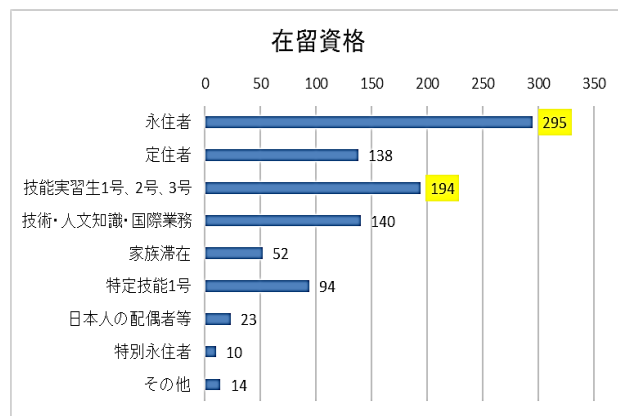
## 5. 国籍

n=960		
国籍	人数	割合
ベトナム	338	35.2%
ブラジル	257	26.8%
フィリピン	99	10.3%
インドネシア	65	6.8%
中国	62	6.5%
ペルー	60	6.3%
韓国	13	1.4%
ネパール	12	1.3%
ミャンマー	10	1.0%
インド	5	0.5%
その他(20か国)	39	4.1%
	960	100.0%



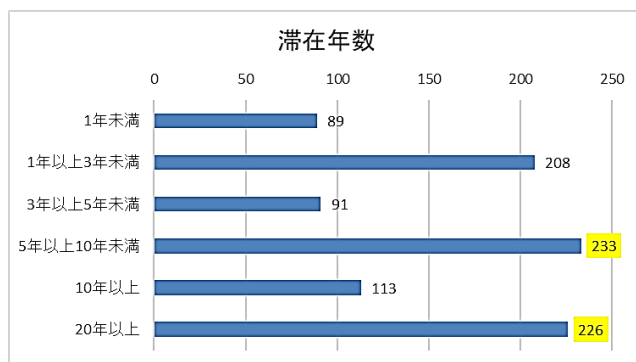
## 6. 在留資格

n=960		
在留資格	人数	割合
永住者	295	30.7%
定住者	138	14.4%
技能実習生1号、2号、3号	194	20.2%
技術・人文知識・国際業務	140	14.6%
家族滞在	52	5.4%
特定技能1号	94	9.8%
日本人の配偶者等	23	2.4%
特別永住者	10	1.0%
その他	14	1.5%
	960	100.0%



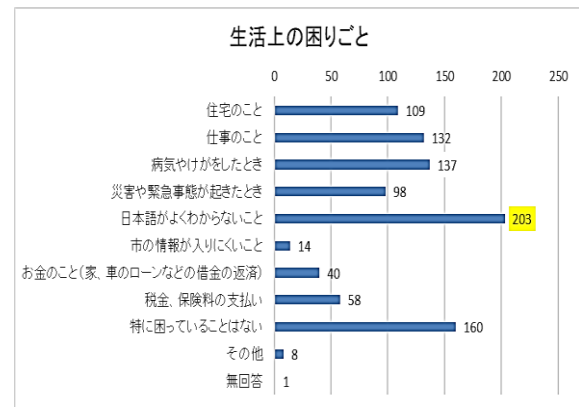
## 7. 滞在年数

n=960		
滞在年数	人数	割合
1年未満	89	9.3%
1年以上3年未満	208	21.7%
3年以上5年未満	91	9.5%
5年以上10年未満	233	24.3%
10年以上	113	11.8%
20年以上	226	23.5%
	960	100.0%



## 8. 生活上の困りごと

		n=960
生活上の困りごと	人数	割合
住宅のこと	109	11.4%
仕事のこと	132	13.8%
病気やけがをしたとき	137	14.3%
災害や緊急事態が起きたとき	98	10.2%
日本語がよくわからないこと	203	21.1%
市の情報が入りにくいこと	14	1.5%
お金のこと(家、車のローンなどの借金の返済)	40	4.2%
税金、保険料の支払い	58	6.0%
特に困っていることはない	160	16.7%
その他	8	0.8%
無回答	1	0.1%
	960	100.0%



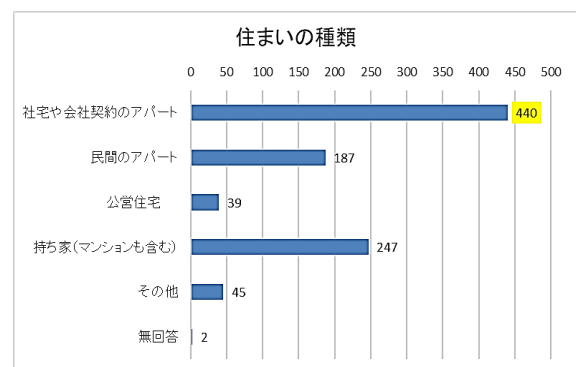
【その他】

・「老後の生活・年金」、「子どもの教育・進学」、「消費トラブル」、「国際結婚の子育て・教育」など。

## 【住まい・生活について】

## 9. 住まいの種類

		n=960
住まいの種類	人数	割合
社宅や会社契約のアパート	440	45.8%
民間のアパート	187	19.5%
公営住宅	39	4.1%
持ち家(マンションも含む)	247	25.7%
その他	45	4.7%
無回答	2	0.2%
	960	100.0%

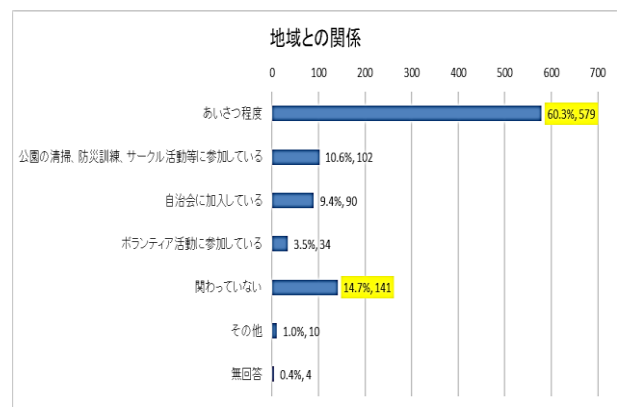


【その他】

・「親戚(親)の家」、「パートナー・友だちが借りたアパート」など。

## 10. 地域との関係

		n=960
地域との関係	人数	割合
あいさつ程度	579	60.3%
公園の清掃、防災訓練、サークル活動等に参加している	102	10.6%
自治会に加入している	90	9.4%
ボランティア活動に参加している	34	3.5%
関わっていない	141	14.7%
その他	10	1.0%
無回答	4	0.4%
	960	100.0%

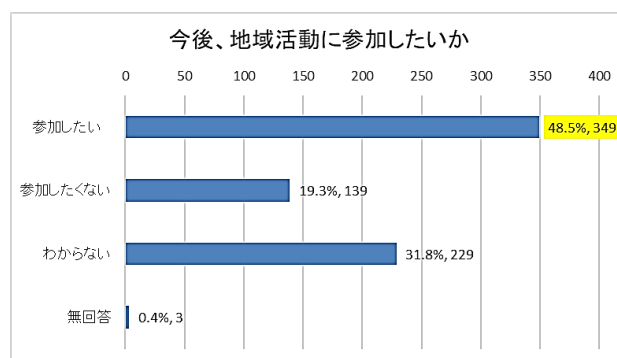


【その他】

・「隣の人と出会うことがほとんどない」、「仕事のため、ほとんど家にいない」、「掃除・草刈りの時にあいさつする」、「日本人と関わる機会がない。多くの人は交流したくないと思う」など。

## 11. 地域住民との関わり及び活動への参加

今後、地域活動に参加したいか			n=720 ※1	
			人数	割合
参加したい			349	48.5%
参加したくない			139	19.3%
わからない			229	31.8%
無回答			3	0.4%
			720	100.0%



※1 Q10で「あいさつ程度」、「関わっていない」と回答した方（720人）。

## 12. 参加しやすくなる方法

参加しやすくなる方法			n=139	
			人数	割合
わかりやすい日本語で声をかけてくれること			32	23.0%
外国語ややさしい日本語で書かれた案内があること			12	8.6%
自分から声をかけても受け入れてくれる雰囲気があること			13	9.4%
日本人と外国人が交流する場があること			6	4.3%
自分も参画できるイベントや集まりがあること			5	3.6%
自分の文化を紹介できる場があること			3	2.2%
今後も参加するつもりはない			58	41.7%
その他			4	2.9%
無回答			6	4.3%
			139	100.0%

※1 Q11で「参加したくない」と回答した方（139人）

## 13. 住まい探し困りごと

住まい探しの困りごと			n=960	
			人数	割合
家賃が高い			290	30.2%
賃貸契約に礼金、敷金などが必要だった			113	11.8%
保証人を見つけるのが難しかった			49	5.1%
外国人であることを理由に断られた			74	7.7%
賃貸に関する情報が少ない			19	2.0%
特に困ることはなかった			317	33.0%
その他			9	0.9%
無回答			89	9.3%
			960	100.0%

【その他】

・「ペット同伴可のアパート探し」。

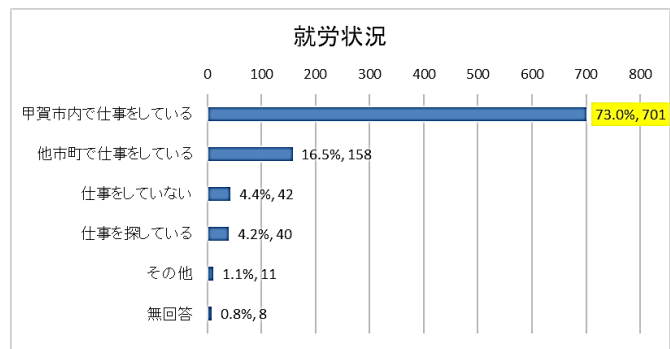
## 14. 自由記載 生活するにあたっての困りごと

回答数 286件 （住まい探し（保証人、国籍を理由に断られた）、物価高により生活苦など。）

## 【仕事について】

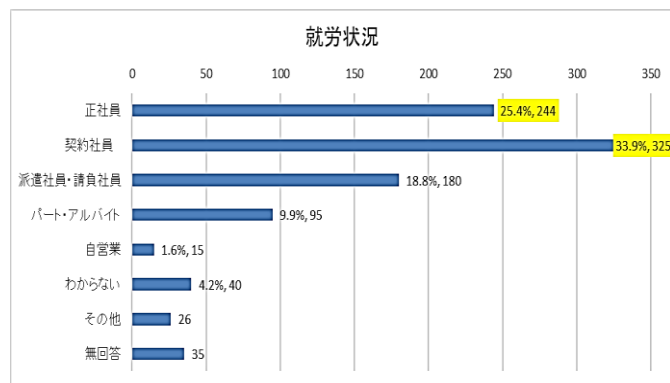
### 15. 就労状況

n=960		
就労	人数	割合
甲賀市内で仕事をしている	701	73.0%
他市町で仕事をしている	158	16.5%
仕事をしていない	42	4.4%
仕事を探している	40	4.2%
その他	11	1.1%
無回答	8	0.8%
	960	100.0%



### 16. 雇用形態

n=960		
雇用形態	人数	割合
正社員	244	25.4%
契約社員	325	33.9%
派遣社員・請負社員	180	18.8%
パート・アルバイト	95	9.9%
自営業	15	1.6%
わからない	40	4.2%
その他	26	2.7%
無回答	35	3.6%
	960	100.0%



【その他】

・「主婦」、「育児休業中」など。

### 17. 仕事探しの困りごと

n=960		
仕事探しの困りごと	人数	割合
採用、昇進、待遇面で日本人と比べて差がある	295	30.7%
就職に関する習慣や制度が母国と違う	75	7.8%
自分の能力や技術(資格)を発揮できる職がない	17	1.8%
就職先の情報が日本語でよくわからない	33	3.4%
仕事の探し方がわからない(正規雇用)	34	3.5%
派遣会社頼りになっている	113	11.8%
特に困ったことはない	306	31.9%
その他	9	0.9%
無回答	78	8.1%
	960	100.0%

【その他】

・「高齢だと雇ってくれない」、「日本語能力が足りない」、「給料が低い」など。

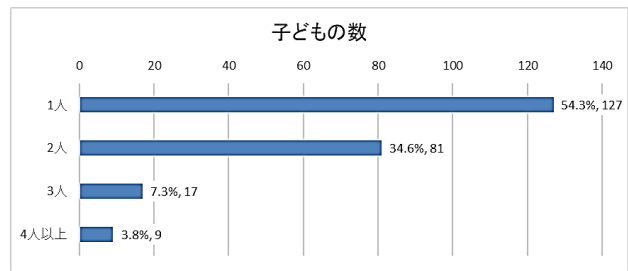
### 18. 自由記載 仕事探しや仕事での困りごと

回答数 288 件 （求職者支援制度を理解していない、外国人求人情報が少ない、差別、ハラスメントなど。）

## 【子どもの保育・教育について】

### 19. 子どもの人数

n=234		
子どもの数	人数	割合
1人	127	54.3%
2人	81	34.6%
3人	17	7.3%
4人以上	9	3.8%
	234	100.0%



### 20. 子どもの日本語能力

n=234		
子どもの日本語能力	人数	割合
日本語での授業を十分理解できる	107	45.7%
日本語での授業を理解するのは難しいが、日常生活のコミュニケーションではあまり困らない	36	15.4%
日常生活で、ときどき困ることがある	29	12.4%
ほとんどできない	27	11.5%
どのくらいできるかわからない	19	8.1%
無回答	16	6.8%
	234	100.0%

### 21. 卒業後の進路希望

n=234		
卒業後の進路希望	人数	割合
日本の高校に進学させたい	151	64.5%
外国人学校やインターナショナルスクールに進学させたい	18	7.7%
帰国させて、母国の学校に進学させたい	7	3.0%
就職させたい	11	4.7%
わからない	23	9.8%
その他	11	4.7%
無回答	13	5.6%
	234	100.0%

【その他】

・「大学に進学させたい」など。

## 22. 教育上の心配事

n=234		
教育上の心配事	人数	割合
日本語が十分できない	40	17.1%
授業の内容が難しい	27	11.5%
学費・授業の内容や負担	55	23.5%
学校での規則や慣習になじめない	2	0.9%
外国人であることを理由に子どもがいじめに遭う	17	7.3%
子どもが将来に対して意欲をもって取り組んでくれない	6	2.6%
子どもが母語を学んだり、母国の文化に触れたりできる機会がない	5	2.1%
特に心配事はない	60	25.6%
その他	6	2.6%
無回答	16	6.8%
	234	100.0%

【その他】

- ・「塾の授業料が高すぎる」、「大学に行くための情報（奨学金制度）が少ない」など。

## 23. 幼児期の子育ての心配事

n=234		
幼児期の子育ての心配事	人数	割合
乳幼児健診や予防接種の案内などがよくわからない	27	11.5%
子どもをあずかってくれる施設等が見つからない	9	3.8%
子どもについて相談できる人や窓口がない	9	3.8%
子育ての習慣や環境が母国と違う	14	6.0%
子どもが母語を学んだり、母国の文化に触れたりできる場がない	3	1.3%
特に心配事はない	67	28.6%
その他	5	2.1%
無回答（5歳未満の子どもがいない家庭）	100	42.7%
	234	100.0%

【その他】

- ・「子どもが学習内容についていけるか不安」など。

## 24. 自由記載 子どもの保育・教育の心配事

回答数 43 件 （発達障がいをもつ子どもの診断・支援、保育園不足、いじめ、学費の負担など。）

## 【健康・年金について】

### 25. 年金の加入状況

健康保険・年金の加入状況			n=960	
	人数	割合		
国民健康保険及び国民年金に加入している	284	29.6%		
職場の社会保険(健康保険・厚生年金)に加入している	533	55.5%		
後期高齢者医療制度に加入している	4	0.4%		
国民健康保険に加入しているが、国民年金に加入していない	32	3.3%		
健康保険及び年金のどちらにも加入していない	10	1.0%		
わからない	62	6.5%		
その他	13	1.4%		
無回答	22	2.3%		
	960	100.0%		

### 26. 加入していない理由

加入していない理由			n=10	
	人数	割合		
健康保険、年金の制度がよくわからない	3	30.0%		
加入する必要があると考えている	0	0.0%		
職場・事業所で加入させてくれない	0	0.0%		
健康保険、年金に加入すると、さかのぼって保険料を払わなければいけないから	3	30.0%		
近日中に帰国をする予定	2	20.0%		
金銭的な負担が大きい	1	10.0%		
無回答	1	10.0%		
	10	100.0%		

※1 Q11で「加入していない」と回答した方(10人)

### 27. 医療に関する困りごと

医療に関する困りごと			n=960	
	人数	割合		
医療費が高い(健康保険に入っていないと医療費はかなり負担になる。)	175	18.2%		
病院についての情報が少ない	50	5.2%		
言葉が伝わらない	115	12.0%		
病院で診療を拒否される	10	1.0%		
診断結果や治療方法が説明されない	32	3.3%		
診察時間など病院の仕組みがわからない	16	1.7%		
特になし	500	52.1%		
その他	11	1.1%		
無回答	51	5.3%		
	960	100.0%		

【その他】

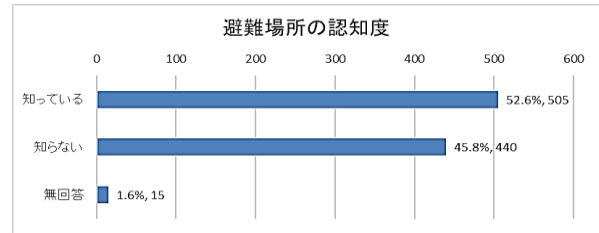
- ・「差別的な扱いを受けた」、「選定療養費が高すぎる」など。



## 【緊急時・災害の備えについて】

### 28. 避難場所の認知度

n=960		
避難場所の認知度	人数	割合
知っている	505	52.6%
知らない	440	45.8%
無回答	15	1.6%
	960	100.0%



### 29. 災害時の備え

n=960		
就労	人数	割合
避難する場所を決めている	279	29.1%
携帯ラジオ・懐中電灯などを準備している	101	10.5%
食料や飲料水を準備している	158	16.5%
家族との連絡方法などを決めている	25	2.6%
消火器を準備している	13	1.4%
家具などを固定し転倒を防止している	15	1.6%
防災訓練に参加している	15	1.6%
甲賀市災害情報メールに登録している	26	2.7%
特に何もしていない	312	32.5%
その他	0	0.0%
無回答	16	1.7%
	960	100.0%

### 30. 災害時の情報収集

n=960		
災害時の情報収集	人数	割合
テレビやラジオ	257	26.8%
インターネット	540	56.3%
友人や知人など(口コミ)	48	5.0%
LINE、Twitter、FacebookなどのSNS	59	6.1%
市のホームページ	12	1.3%
甲賀市災害情報メール	12	1.3%
保育園・学校や勤務先	8	0.8%
甲賀市役所の窓口	5	0.5%
甲賀市国際交流協会(甲賀市多文化共生センター)	5	0.5%
その他	2	0.2%
無回答	12	1.3%
	960	100.0%

### 31. 災害時に市に期待していること

	n=960	
災害時に市に期待していること	人数	割合
避難場所の案内を外国人にもわかりやすくする	675	70.3%
日本語以外の言語による緊急時対応のパンフレットを配布する	81	8.4%
外国人にも地域の防災訓練に参加できるようにする	54	5.6%
緊急時に日本語以外で放送や誘導を行う	51	5.3%
日本語以外の言語による情報提供や相談に応じられるようにする	58	6.0%
その他	4	0.4%
無回答	37	3.9%
	960	100.0%

【その他】

- ・「防災無線が聞き取りにくいので、アプリ等で避難情報が届くようにすると良い」など。

### 【日本語能力について】

### 32. 日本語能力試験の受験状況

	n=960	
日本語能力試験の受験状況	人数	割合
受けたことがある	338	35.21%
受けたことがない	608	63.33%
無回答	14	1.46%
	960	100.0%

### 33. 合格したレベル

	n=338	
合格したレベル 試験を受けたことがあると回答した人（n=338）	人数	割合
N1	31	9.2%
N2	56	16.6%
N3	87	25.7%
N4	96	28.4%
N5	55	16.3%
無回答	13	3.8%
	338	100.0%

### 34. 日本語能力（会話レベル）

	n=960	
日本語能力（会話レベル）	人数	割合
どんな内容であっても相手や状況に合わせて適切に会話を進めることができる	103	10.7%
流ちょうに自然に会話をすることができる	77	8.0%
日常生活に必要な会話ができる	249	25.9%
身近で基本的な情報交換ができる	189	19.7%
よく使われるあいさつや日常的な言い回しを使うことができる	298	31.0%
全くできない	30	3.1%
無回答	14	1.5%
	960	100.0%

35. 日本語能力（読むレベル）

n=960		
日本語能力（読むレベル）	人数	割合
どんな内容の文章でも容易に読むことができる	74	7.7%
ある視点に基づいた新聞記事などを読むことができる	35	3.6%
日常生活でよく使われる言葉で書かれたEメールなどを読むことができる	115	12.0%
身近な内容の簡単で短い文章を読むことができる	403	42.0%
掲示やポスターの中がよく知っている名前や言葉なら読むことができる	182	19.0%
全く分からない	133	13.9%
無回答	18	1.9%
	960	100.0%

36. 日本語能力（書くレベル）

n=960		
日本語能力（書くレベル）	人数	割合
明瞭な流ちょうな文章を適切な文体で書くことができる	64	6.7%
幅広くいろいろな話題について詳しい説明文を書くことができる	29	3.0%
日常生活での経験や感想などについてのEメールなどを書くことができる	92	9.6%
短いメモやメッセージを書くことができる	306	31.9%
名前や住所などを書くことができる	340	35.4%
全くできない	112	11.7%
無回答	17	1.8%
	960	100.0%

37. 日本語の学習状況

n=960		
日本語を学習しているか	人数	割合
学習している	516	53.8%
学習していない	424	44.2%
無回答	20	2.1%
	960	100.0%

38. 学習している理由

n=516		
日本語を学習している理由 学習していると回答した人（n=516）	人数	割合
仕事で必要だから	348	67.4%
より条件のいい仕事を見つけるため	33	6.4%
日本人とのつきあいを広げるため	37	7.2%
日本で生活していくために必要だから	66	12.8%
子育てに必要だから	3	0.6%
日本で永住していくために必要だから	10	1.9%
在留資格を更新/変更するため	6	1.2%
仕事に役立つ資格を取得したいため	9	1.7%
その他	3	0.6%
無回答	1	0.2%
	516	100.0%

### 39. 学習方法

n=516		
学習方法 学習していると回答した人 (n=516)	人数	割合
大学や専門学校	33	6.4%
甲賀市、甲賀市国際交流協会が開催している 日本語教室	37	7.2%
ハローワークの日本語教室 (JICEなど)	7	1.4%
パソコンやスマホのアプリ	244	47.3%
テキストを使って自分で学習	149	28.9%
テレビやラジオ	7	1.4%
家庭教師 (対面またはオンライン)	9	1.7%
通信教育	11	2.1%
その他	11	2.1%
無回答	8	1.6%
	516	100.0%

### 40. 学習していない理由

n=424		
学習していない理由 学習していないと回答した人 (n=424)	人数	割合
日本語ができるので学ぶ必要がないから	94	22.2%
日本語ができなくても生活に困らないから	50	11.8%
都合の良い時間帯に利用できる日本語教室 がないから	101	23.8%
無料の日本語教室が近くにないから	23	5.4%
日本語教室・語学学校等の受講料金が高い から	15	3.5%
どこで日本語を学べるか分からないから	32	7.5%
近くに日本語教室がないから	18	4.2%
日本語教室の内容 (教え方、レベル) が合わな いから	6	1.4%
母語による指導を受けられないから	15	3.5%
その他	27	6.4%
無回答	43	10.1%
	424	100.0%

【その他】

・「仕事・子育てで勉強する時間が足りない」、「日本で生まれ育ったため」など。

### 41. 今後学習したいか

n=424		
今後学習したいか 学習していないと回答した人 (n=424)	人数	割合
① 学習したい	104	24.5%
② 機会があれば学習したい	197	46.5%
③ 学習したくない	16	3.8%
④ わからない	66	15.6%
無回答	41	9.7%
	424	100.0%

42. どんな日本語教室が望ましいか

n=213		
どんな日本語教室は望ましいか 学習しくない、機会があれば学習したい人 (n=213)	人数	割合
初級レベルの教室(あいさつなど日常生活に必要な日本語)	36	16.9%
読み書きを中心とした教室	28	13.1%
<b>日常会話を中心とした教室</b>	<b>66</b>	<b>31.0%</b>
日本語能力試験などの試験対策	16	7.5%
オンラインの日本語教室	27	12.7%
今後も学習するつもりはない	12	5.6%
その他	5	2.3%
無回答	23	10.8%
	213	100.0%

【その他】

・「プライベートレッスン」など。

【情報の入手先・相談先について】

43. 生活に必要な情報収集

n=960		
生活に必要な情報収集	人数	割合
市役所の窓口・広報誌など	183	19.1%
日本語のテレビやラジオ	123	12.8%
日本語の新聞や情報誌	24	2.5%
日本語以外のテレビやラジオ	30	3.1%
日本語以外の新聞や情報誌	19	2.0%
<b>インターネット・携帯</b>	<b>462</b>	<b>48.1%</b>
民間ボランティア	5	0.5%
日本人の親戚、知人、友人	36	3.8%
外国人の親戚、知人、友人	32	3.3%
その他	2	0.2%
無回答	44	4.6%
	960	100.0%

44. 必要な情報提供

n=960		
必要な情報提供	人数	割合
<b>住宅に関する情報</b>	<b>236</b>	<b>24.6%</b>
自分や子どもの保育・教育に関する情報	94	9.8%
出産や育児に関する情報	14	1.5%
医療保険に関する情報	77	8.0%
就職・雇用・ビジネス展開に関する情報	109	11.4%
<b>災害など緊急時の対応に関する情報</b>	<b>135</b>	<b>14.1%</b>
在留資格に関する情報	50	5.2%
税金に関する情報	64	6.7%
公共施設の利用方法に関する情報	37	3.9%
地域の交流イベントや祭りの情報	64	6.7%
その他	3	0.3%
無回答	77	8.0%
	960	100.0%

45. 困るときの相談先

n=960		
困るときの相談先	人数	割合
市役所や地域市民センター	296	30.8%
甲賀市国際交流協会(甲賀市多文化共生センター)	44	4.6%
大使館・領事館	67	7.0%
同じ国籍の家族・友人	299	31.1%
日本人の家族・友人	77	8.0%
会社の同僚	95	9.9%
所属している教会などの宗教団体	17	1.8%
ボランティア団体	10	1.0%
その他	12	1.3%
無回答	43	4.5%
	960	100.0%

【行政サービスについて】

46. 行政サービスの利用状況

n=960		
行政サービスの利用状況(認知度)	人数	割合
ごみ収集カレンダー、検診カレンダーなどの多言語資料	471	49.1%
広報紙(日本語版)	41	4.3%
広報紙(英語版・ポルトガル語版)	50	5.2%
市役所のホームページ(日本語版)	43	4.5%
市役所のホームページ(多言語/8言語対応)	26	2.7%
甲賀市外国語災害情報メール	22	2.3%
市役所1F外国人相談窓口	26	2.7%
日本語教室	50	5.2%
学習支援教室(放課後教室)	1	0.1%
甲賀市国際交流協会(甲賀市多文化共生センター)の外国人相談窓口	13	1.4%
各地域市民センター	21	2.2%
どれも知らない	141	14.7%
その他	4	0.4%
無回答	51	5.3%
	960	100.0%

47. 必要な行政サービス

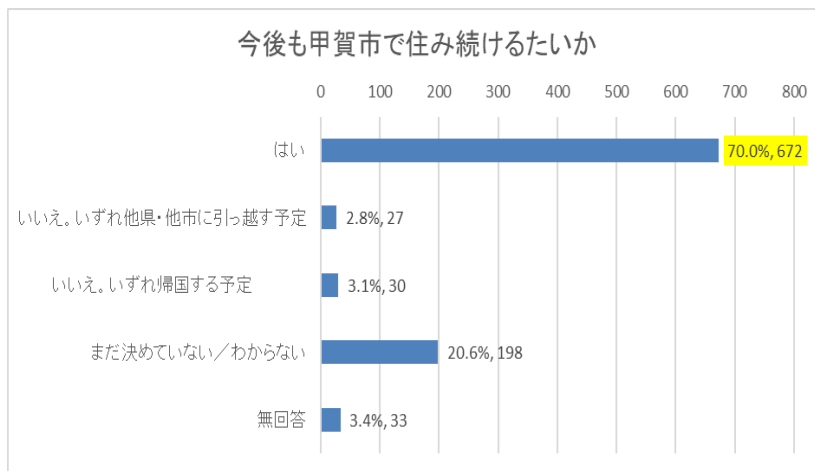
n=960		
就労	人数	割合
行政情報の多言語化の充実	375	39.1%
行政の窓口における通訳の充実	121	12.6%
子どもに対する教育支援の充実	70	7.3%
日本語教育・教室の充実	76	7.9%
生活相談窓口の充実	31	3.2%
日本人との交流機会の充実	60	6.3%
甲賀市での生活ルール等を学ぶ機会の充実	38	4.0%
各国の文化や伝統芸能を発表する機会の充実	17	1.8%
防災対策等の情報提供、講習会の充実	74	7.7%
その他	6	0.6%
無回答	92	9.6%
	960	100.0%

48. 行政に協力できること

n=960		
行政に協力できること	人数	割合
通訳	253	26.4%
翻訳	45	4.7%
地震や風水害があったとき、避難指示や市役所からの情報を正確に同じ出身国の人たちへ伝えるなど、情報伝達・発信すること	194	20.2%
生活相談窓口の支援	75	7.8%
日本人との交流機会を促進すること	67	7.0%
日本の文化や生活に必要な情報・知識について、同じ出身国の人たちに教えるなど、人とコミュニティを繋げること	113	11.8%
母語や母国の文化の保持、継承、紹介に関すること	54	5.6%
その他	7	0.7%
無回答	152	15.8%
	960	100.0%

49. 今後も甲賀市で住み続けたいか

n=960		
今後も甲賀市で住み続けたいか	人数	割合
はい	672	70.0%
いいえ。いずれ他県・他市に引っ越す予定	27	2.8%
いいえ。いずれ帰国する予定	30	3.1%
まだ決めていない／わからない	198	20.6%
無回答	33	3.4%
	960	100.0%



50. 自由記載 安全、安心に暮らし続けるために必要な政策

回答数 204 件

・「多文化共生の意識啓発（国籍を理由にした不利な扱いを無くす、外国人への教育、外国人を生活者として捉える）」、「学校における国際理解を進める」、「効率的な情報提供」、「ごみの捨て方ルールを分かりやすくする」、「会話を中心とした日本語教室の開催」、「学校におけるいじめ対策」など。

※甲賀市は良いところで、今後も住み続けたいコメントが多数あり。

## 【参考資料】

### 令和7年度 甲賀市市政に関する意識調査（速報値：抜粋）※未定稿

#### 1. 有効回答数等

	標本抽出計画				有効回答			前回回収率 (令和6年)
	母集団	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比	回収率	
水口地域	34,066	45.7%	1,380	46.0%	528	43.5%	38.3%	31.3%
土山地域	6,042	8.1%	245	8.2%	81	6.7%	33.1%	44.3%
甲賀地域	7,939	10.7%	311	10.4%	161	13.3%	51.8%	44.8%
甲南地域	17,385	23.3%	708	23.6%	300	24.7%	42.4%	37.9%
信楽地域	9,049	12.1%	356	11.9%	134	11.0%	37.6%	39.0%
不明・無回答	-	-	-	-	9	0.7%	-	-
合計	74,481	100%	3,000	100%	1,213	100%	40.4%	36.6%

	標本抽出計画				有効回答			前回回収率 (令和6年)
	母集団	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比	回収率	
20歳代以下	10,597	14.2%	433	14.4%	78	6.4%	18.0%	15.6%
30歳代	8,993	12.1%	377	12.6%	99	8.2%	26.3%	22.9%
40歳代	11,148	15.0%	445	14.8%	141	11.6%	31.7%	24.2%
50歳代	12,293	16.5%	472	15.7%	189	15.6%	40.0%	35.0%
60歳代	11,123	14.9%	423	14.1%	247	20.4%	58.4%	49.4%
70歳以上	20,327	27.3%	850	28.3%	449	37.0%	52.8%	54.4%
不明・無回答	-	-	-	-	10	0.8%	-	-
合計	74,481	100%	3,000	100%	1,213	100%	40.4%	36.6%

がいこくじんし みん きょうせい

#### 外国人市民との共生についておたずねします

「やさしい日本語」は、簡単な表現や言葉を使い、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

ふつう にほんご (普通の日本語)	にほんご (やさしい日本語)
ど そくげんきん 土足厳禁	➡ くつ ぬ 靴を脱いでください。
じしん たかだい ひなん 地震です。高台に避難してください。	➡ じしん たか ところ に 地震です。高い所へ逃げてください。

はな  
話すとき : ゆっくり、はっきり、最後まで話すなどの工夫をします。

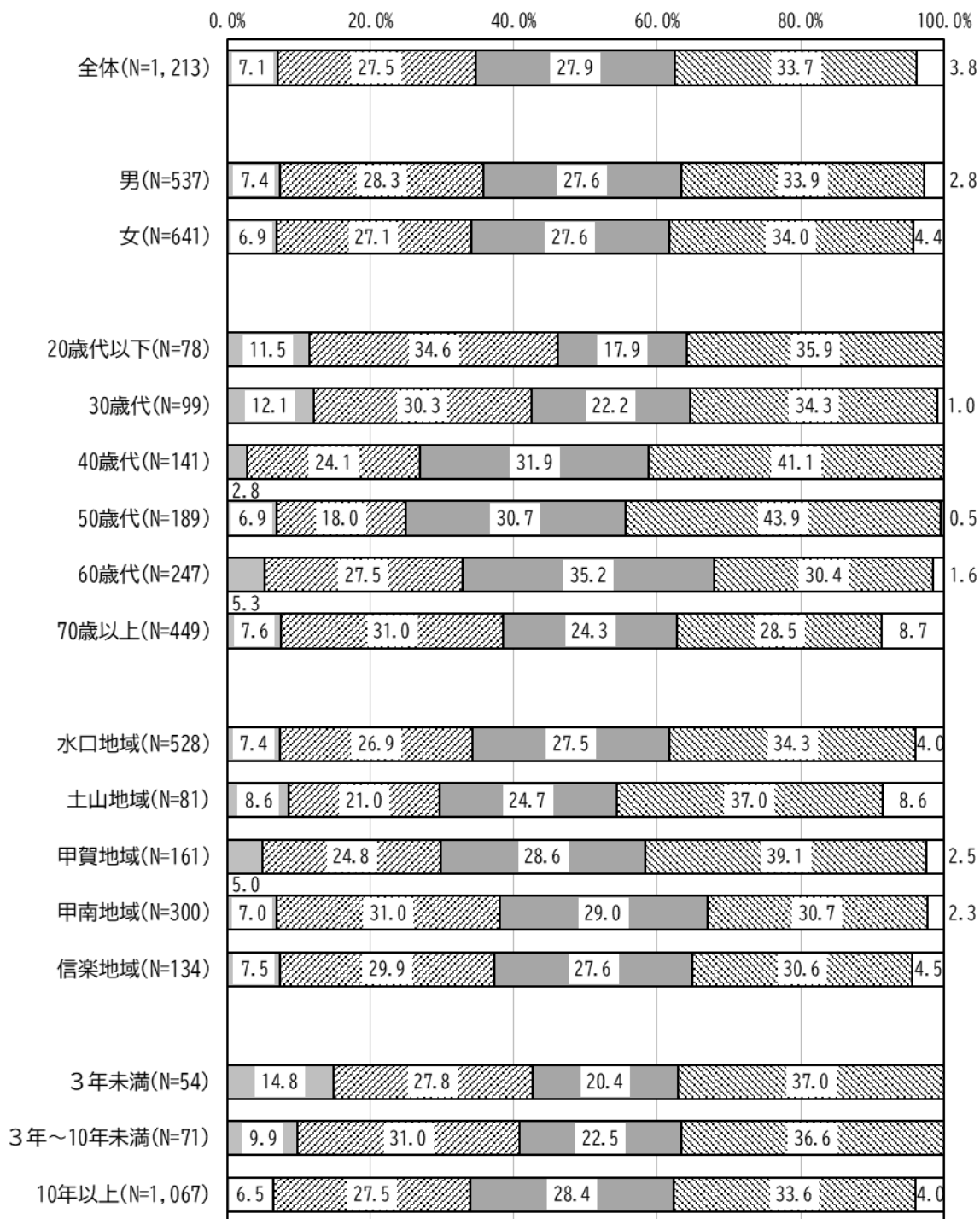
か  
書くとき : ぶん みじか かんじ ふ  
文を短くする、漢字にふりがなを振るなどの工夫をします。



《問16》 あなたは「やさしい日本語」を知っていますか。(○は1つ)

- 1 よく知っている                      2 ある程度知っている  
3 見たこと、聞いたことがある      4 全く知らない

■「やさしい日本語」の認知度（単数回答）



□よく知っている □ある程度知っている □見たこと、聞いたことがある □全く知らない □不明・無回答

「<sup>とい</sup>やさしい<sup>にほんご</sup>日本語<sup>つか</sup>」を使<sup>おも</sup>いたいと思いますか。(○は1つ)

1 <sup>せっきよくてき</sup>積極的に使<sup>つか</sup>いたい

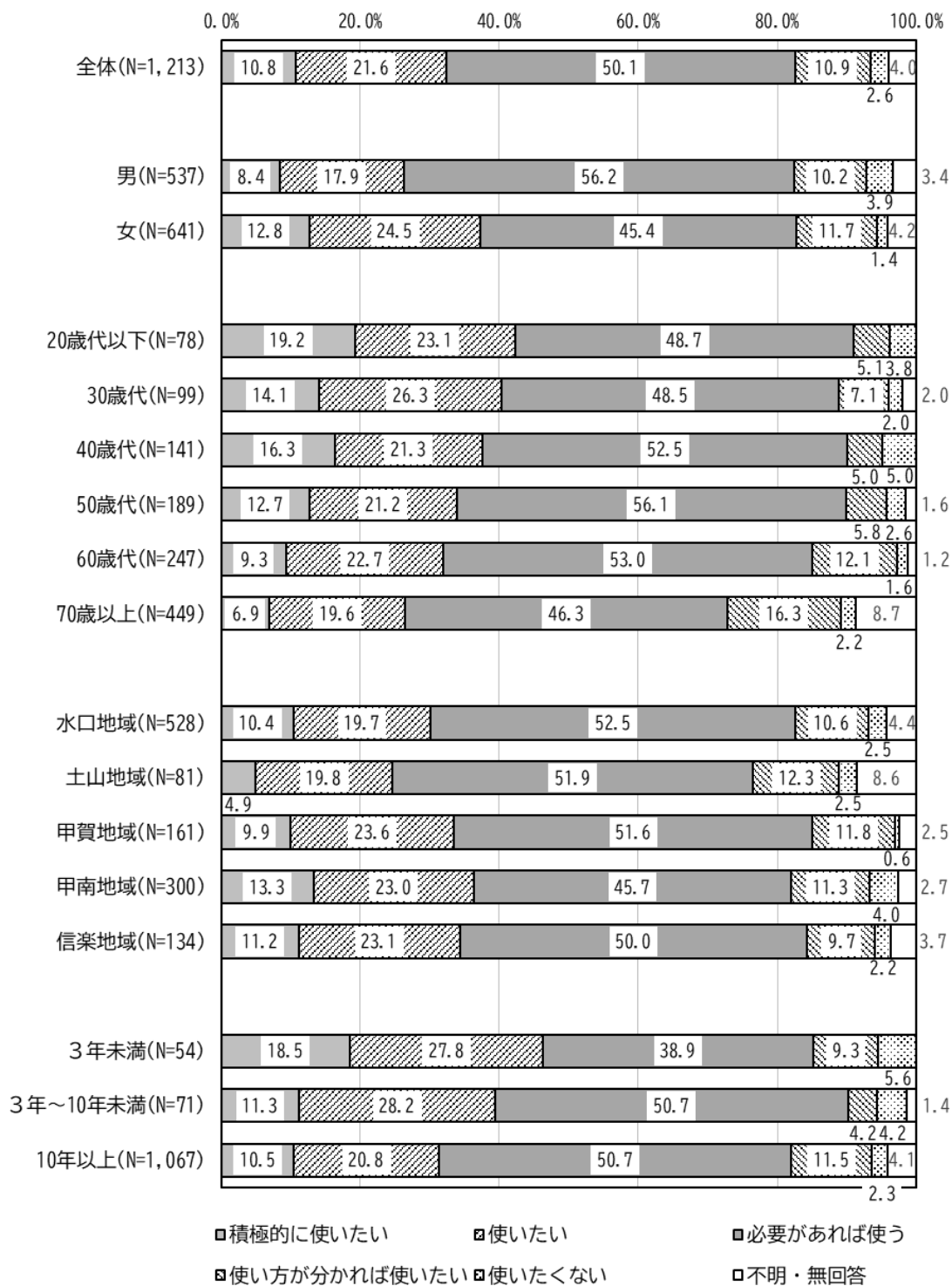
2 <sup>つか</sup>使<sup>つか</sup>いたい

3 <sup>ひつよう</sup>必要があれば使<sup>つか</sup>う

4 <sup>つか</sup>使<sup>つか</sup>い方が分<sup>かた</sup>かれば使<sup>わ</sup>いたい

5 <sup>つか</sup>使<sup>つか</sup>いたくない

■「やさしい日本語」の使用意向（単数回答）



《問18》 あなたは、外国人に対してどのような場面で「やさしい日本語」を使って対応すると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 仕事のとき
- 2 災害関連情報の提供や緊急災害のとき
- 3 日本の文化・習慣について話すとき
- 4 病院や薬、健康診断などについて話すとき
- 5 ゴミの収集、ペットなどの生活情報について話すとき
- 6 税金・年金・医療保険などについて話すとき
- 7 学校や保育園、幼稚園など教育について話すとき
- 8 妊娠・出産、子育て、福祉サービスなどについて話すとき
- 9 その他( )

■外国人に対して「やさしい日本語」の使用場面（複数回答）

	仕事のとき	災害関連情報の提供や緊急災害のとき	日本の文化・習慣について話すとき	病院や薬、健康診断などについて話すとき	ゴミの収集、ペットなどの生活情報について話すとき	税金・年金・医療保険などについて話すとき	学校や保育園、幼稚園など教育について話すとき	妊娠・出産、子育て、福祉サービスなどについて話すとき	その他	不明・無回答
全体(N=1,213)	49.4	61.7	41.2	49.5	52.0	27.6	33.0	31.2	5.2	4.5
男(N=537)	46.2	54.7	43.2	41.9	46.7	22.7	27.6	23.8	5.0	4.3
女(N=641)	51.6	67.6	39.3	55.5	56.2	31.4	37.3	36.8	5.3	4.7
20歳代以下(N=78)	78.2	67.9	42.3	55.1	43.6	41.0	51.3	48.7	1.3	1.3
30歳代(N=99)	73.7	64.6	33.3	56.6	42.4	41.4	53.5	50.5	2.0	3.0
40歳代(N=141)	71.6	70.9	36.2	61.7	44.7	42.6	51.1	47.5	4.3	0.0
50歳代(N=189)	63.5	61.9	41.3	49.7	48.7	34.4	38.6	39.7	7.9	1.6
60歳代(N=247)	53.8	69.2	45.7	57.9	58.7	30.0	38.5	34.8	4.5	1.6
70歳以上(N=449)	24.3	52.8	41.6	38.5	55.7	13.6	14.5	13.6	6.0	9.6
水口地域(N=528)	50.8	61.4	37.9	49.1	50.2	28.2	34.3	32.2	6.3	4.7
土山地域(N=81)	48.1	54.3	38.3	48.1	55.6	24.7	29.6	27.2	2.5	8.6
甲賀地域(N=161)	47.2	62.7	44.1	52.8	47.8	26.1	28.6	30.4	4.3	3.1
甲南地域(N=300)	47.0	60.0	42.0	50.7	56.7	27.0	35.3	32.0	5.7	3.3
信楽地域(N=134)	54.5	69.4	50.0	45.5	51.5	30.6	30.6	29.9	3.0	5.2
3年未満(N=54)	63.0	72.2	55.6	66.7	55.6	46.3	46.3	44.4	3.7	3.7
3年～10年未満(N=71)	70.4	60.6	32.4	56.3	45.1	35.2	52.1	49.3	0.0	0.0
10年以上(N=1,067)	47.8	61.4	41.0	48.4	52.4	26.3	31.4	29.8	5.7	4.8

《問19》あなたが、日本に居住している外国人に関し、体験したことや、身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- 1 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
- 2 交際や結婚を反対されること
- 3 就職・職場で不利な扱いを受けること
- 4 差別的な言葉を言われること
- 5 アパートなどへの入居を拒否されること
- 6 宿泊などの施設の利用や、店舗などへの入店を拒否されること
- 7 風習や習慣などの違いが受け入れられないこと
- 8 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 9 その他( )
- 10 特になし

■日本に居住している外国人に関する人権問題（複数回答）

	職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	交際や結婚を反対されること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言葉を言われること	アパートなどへの入居を拒否されること	宿泊などの施設の利用や、店舗などへの入店を拒否されること	風習や習慣などの違いが受け入れられないこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	その他	特になし	不明・無回答
全体(N=1,213)	14.4	8.8	18.7	19.0	8.6	5.4	20.0	13.6	1.3	46.7	7.6
男(N=537)	13.2	8.4	18.1	16.6	8.9	5.0	19.7	12.5	1.3	48.8	6.1
女(N=641)	14.7	9.0	18.6	20.9	7.8	5.3	20.3	14.2	1.2	45.4	8.6
20歳代以下(N=78)	17.9	10.3	12.8	21.8	6.4	7.7	17.9	21.8	0.0	51.3	0.0
30歳代(N=99)	25.3	9.1	20.2	28.3	14.1	4.0	22.2	22.2	1.0	39.4	2.0
40歳代(N=141)	14.9	9.2	22.0	23.4	12.1	7.8	17.7	22.0	2.1	51.8	1.4
50歳代(N=189)	16.4	6.9	22.2	20.6	6.9	5.8	18.5	10.1	2.1	52.9	2.6
60歳代(N=247)	11.7	12.1	23.9	17.8	9.7	5.7	22.7	10.5	1.2	47.0	5.7
70歳以上(N=449)	12.0	7.3	13.8	15.1	6.7	4.0	20.0	10.9	0.9	43.2	15.1
水口地域(N=528)	16.5	9.3	18.0	20.1	9.8	4.9	21.0	13.1	1.3	45.3	7.4
土山地域(N=81)	8.6	11.1	19.8	21.0	4.9	3.7	12.3	9.9	2.5	48.1	7.4
甲賀地域(N=161)	12.4	9.3	20.5	16.8	7.5	7.5	19.9	15.5	1.9	46.0	7.5
甲南地域(N=300)	13.0	8.0	18.7	19.0	8.3	5.7	19.3	14.3	1.0	50.7	6.3
信楽地域(N=134)	15.7	6.7	17.9	16.4	7.5	4.5	23.1	14.2	0.7	43.3	11.2
3年未満(N=54)	20.4	11.1	18.5	25.9	7.4	3.7	20.4	18.5	1.9	46.3	3.7
3年～10年未満(N=71)	21.1	8.5	22.5	25.4	16.9	8.5	21.1	16.9	0.0	45.1	5.6
10年以上(N=1,067)	13.7	8.6	18.3	18.3	8.1	5.1	20.1	13.4	1.4	47.0	7.7

《問20》ヘイトスピーチ(特定の民族や国籍の人々を排斥する不当な差別的言動)について、  
どのようにおもいますか。(○はいくつでも)

1 ふ ゆ かい ゆる おも  
不愉快で許せないと思った

2 に ほん たい いんしょう わる おも  
日本に対する印象が悪くなると思った

3 じ ぶん かんけい おも  
自分には関係ないと思った

4 ヘイトスピーチをされる側(がわ もんだい)に問題があるとおも

5 ひょうげん じ ゆう はん い ない おも  
表現の自由の範囲内のものだと思った

6 その他( た )

7 なに おも  
何も思わない

■ヘイトスピーチについての問題意識（複数回答）

	不愉快で許せないと思った	日本に対する印象が悪くなると思った	自分には関係ないと思った	ヘイトスピーチがあると聞いた	表現の自由の範囲内のものだと思う	その他	何も思わない	不明・無回答
全体(N=1,213)	44.8	37.8	5.7	11.4	6.3	5.7	8.2	8.2
男(N=537)	41.3	41.5	5.6	15.8	5.6	5.6	9.3	6.5
女(N=641)	47.6	35.1	5.6	7.8	7.2	5.8	7.2	9.4
20歳代以下(N=78)	44.9	46.2	5.1	10.3	6.4	2.6	15.4	0.0
30歳代(N=99)	40.4	40.4	5.1	11.1	3.0	9.1	12.1	3.0
40歳代(N=141)	49.6	32.6	6.4	9.2	5.0	8.5	8.5	1.4
50歳代(N=189)	46.0	34.9	4.8	9.5	5.8	8.5	11.6	4.2
60歳代(N=247)	50.6	36.4	5.3	12.6	6.1	5.7	5.7	4.9
70歳以上(N=449)	40.5	39.6	6.2	12.5	7.8	3.3	5.8	16.0
水口地域(N=528)	42.6	39.0	5.3	13.4	4.7	5.3	9.3	6.8
土山地域(N=81)	39.5	35.8	14.8	8.6	6.2	3.7	9.9	8.6
甲賀地域(N=161)	44.7	32.3	7.5	6.2	6.2	8.1	6.8	11.2
甲南地域(N=300)	50.7	38.0	3.3	11.3	8.3	6.7	7.3	6.0
信楽地域(N=134)	43.3	41.0	4.5	11.9	9.0	3.7	6.0	13.4
3年未満(N=54)	44.4	35.2	5.6	7.4	9.3	9.3	13.0	3.7
3年～10年未満(N=71)	38.0	31.0	2.8	11.3	2.8	7.0	18.3	5.6
10年以上(N=1,067)	45.5	38.6	5.9	11.6	6.4	5.5	7.3	8.2

問20まとめ

- ・「不愉快でゆるせない」が45%、「日本に対する印象が悪くなる」が38%
- ・「される側にも問題あり」が11%、60歳代で12.6%、70歳代で12.5%。
- ・土山地域においては「自分には関係ない」が15%

＜問21＞ 市内に外国人が増えることをどう思いますか。(○は1つ)

1 望ましい 2 望ましくない 3 わからない



＜問21-1＞ 問21で「1」と回答された方におたずねします。

望ましいと思う理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 1 外国の文化・生活習慣に触れる機会が増える
- 2 外国人の友人、知人をつくる機会が増える
- 3 外国語を学ぶ機会が増える
- 4 人口が増えて町に活気が出る(地域の活性化につながる)
- 5 働き手や消費者が増える
- 6 地域活動を支える担い手が増える
- 7 その他( )

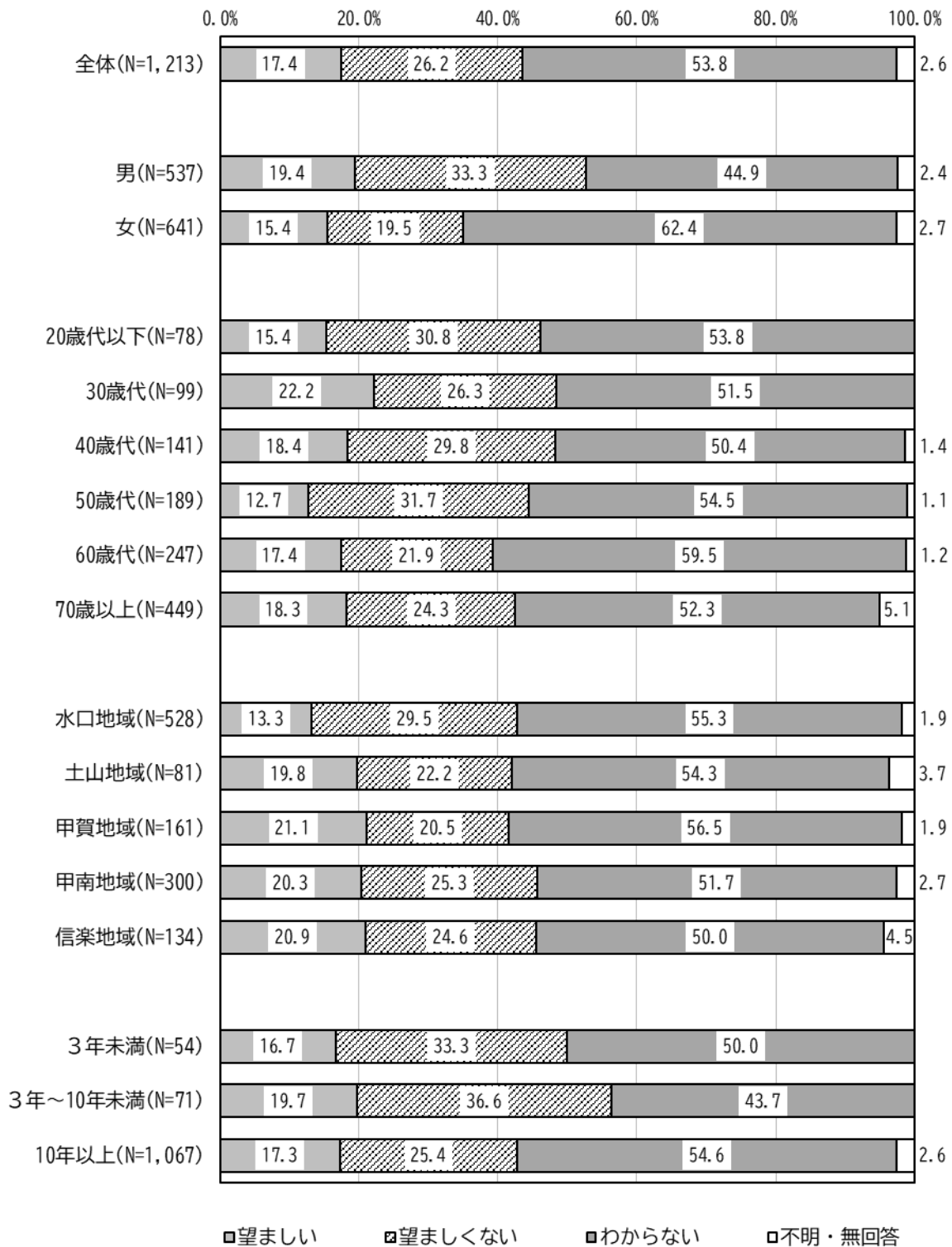


<問21-2> 問21で「2」と回答された方におたずねします。

望ましくないと思う理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 近隣のトラブルが増えそう
- 2 文化・生活習慣が違う
- 3 意思の疎通が難しい
- 4 社会的負担が増える
- 5 外国人がコミュニティを形成し、社会的分断が進む
- 6 外国人材に仕事を奪われる
- 7 その他( )

■市内に外国人が増えることについて（単数回答）



#### 問21 まとめ

- ・「わからない」が54%であり、判断保留が多い。
- ・女性のほうが「わからない」を選択する割合が高い。
- ・「望ましくない」を選択しているのは50歳代、20歳代が多い。60歳代以降は低め。
- ・他地域と比して、水口地域において「望ましくない」の割合が高い。



■市内に外国人が増えることについて望ましい理由（複数回答）

	外国人の文化・生活習慣に触れる機会が増える	外国人の友人、知人をつくる機会が増える	外国語を学ぶ機会が増える	人口が増えて町に活気が出る（地域の活性化につながる）	働き手や消費者が増える	地域活動を支える担い手が増える	その他	不明・無回答
全体(N=211)	46.4	37.0	22.7	63.5	64.5	42.7	3.3	0.0
男(N=104)	43.3	40.4	26.9	66.3	63.5	47.1	5.8	0.0
女(N=99)	50.5	33.3	19.2	59.6	64.6	39.4	1.0	0.0
20歳代以下(N=12)	50.0	50.0	66.7	33.3	41.7	33.3	0.0	0.0
30歳代(N=22)	54.5	54.5	31.8	54.5	68.2	36.4	4.5	0.0
40歳代(N=26)	38.5	30.8	23.1	57.7	80.8	46.2	7.7	0.0
50歳代(N=24)	70.8	37.5	20.8	66.7	62.5	29.2	4.2	0.0
60歳代(N=43)	41.9	32.6	14.0	67.4	83.7	51.2	0.0	0.0
70歳以上(N=82)	41.5	35.4	19.5	68.3	51.2	45.1	3.7	0.0
水口地域(N=70)	42.9	27.1	25.7	58.6	58.6	42.9	7.1	0.0
土山地域(N=16)	31.3	56.3	25.0	68.8	68.8	50.0	0.0	0.0
甲賀地域(N=34)	35.3	26.5	8.8	67.6	76.5	47.1	0.0	0.0
甲南地域(N=61)	55.7	42.6	24.6	57.4	59.0	29.5	3.3	0.0
信楽地域(N=28)	57.1	53.6	28.6	78.6	71.4	64.3	0.0	0.0
3年未満(N=9)	77.8	55.6	22.2	55.6	66.7	22.2	0.0	0.0
3年～10年未満(N=14)	64.3	42.9	50.0	42.9	57.1	35.7	7.1	0.0
10年以上(N=185)	43.8	35.7	20.5	65.4	64.9	44.9	3.2	0.0

問21-1 まとめ

- ・「働き手、消費者増」、「人口増加」が多い。
- ・20歳代以下は「外国語を学べる」が高い。
- ・40歳代は「働き手、消費増」を選択する割合が高い。8割。
- ・50歳代は「文化交流の機会」を選択する割合が高い。

■市内に外国人が増えることについて望ましくない理由（複数回答）

	近隣とのトラブルが増えそう	文化・生活習慣が違う	意思の疎通が難しい	社会的負担が増える	外国人がコミュニティを形成し、社会的分断が進む	外国人材に仕事を奪われる	その他	不明・無回答
全体(N=318)	69.8	58.8	51.9	28.6	30.8	11.6	9.7	0.0
男(N=179)	73.2	62.6	55.3	30.2	34.6	10.6	8.9	0.0
女(N=125)	68.0	54.4	46.4	26.4	26.4	10.4	10.4	0.0
20歳代以下(N=24)	62.5	45.8	50.0	41.7	25.0	25.0	20.8	0.0
30歳代(N=26)	73.1	57.7	34.6	34.6	30.8	15.4	15.4	0.0
40歳代(N=42)	69.0	64.3	54.8	28.6	33.3	7.1	14.3	0.0
50歳代(N=60)	70.0	63.3	50.0	33.3	36.7	16.7	6.7	0.0
60歳代(N=54)	83.3	72.2	59.3	24.1	42.6	13.0	9.3	0.0
70歳以上(N=109)	63.3	50.5	51.4	22.0	22.0	4.6	5.5	0.0
水口地域(N=156)	69.9	61.5	51.9	29.5	29.5	11.5	8.3	0.0
土山地域(N=18)	77.8	55.6	44.4	27.8	27.8	5.6	5.6	0.0
甲賀地域(N=33)	66.7	75.8	57.6	27.3	24.2	12.1	18.2	0.0
甲南地域(N=76)	69.7	53.9	53.9	30.3	36.8	7.9	9.2	0.0
信楽地域(N=33)	66.7	42.4	42.4	18.2	30.3	18.2	12.1	0.0
3年未満(N=18)	72.2	55.6	38.9	27.8	44.4	22.2	16.7	0.0
3年～10年未満(N=26)	84.6	73.1	61.5	38.5	38.5	19.2	11.5	0.0
10年以上(N=271)	67.9	57.9	51.3	27.3	29.2	9.6	9.2	0.0

問2 1-2 まとめ

- ・「近隣とのトラブル」、「文化、習慣の違い」が多い。
- ・20歳代以下は「仕事を奪われる」との認識が多世代と比して高い。
- ・60歳代は「近隣とのトラブル」を選択する割合が高い。8割。
- ・土山地域は「近隣とのトラブル」を選択する割合が高い。